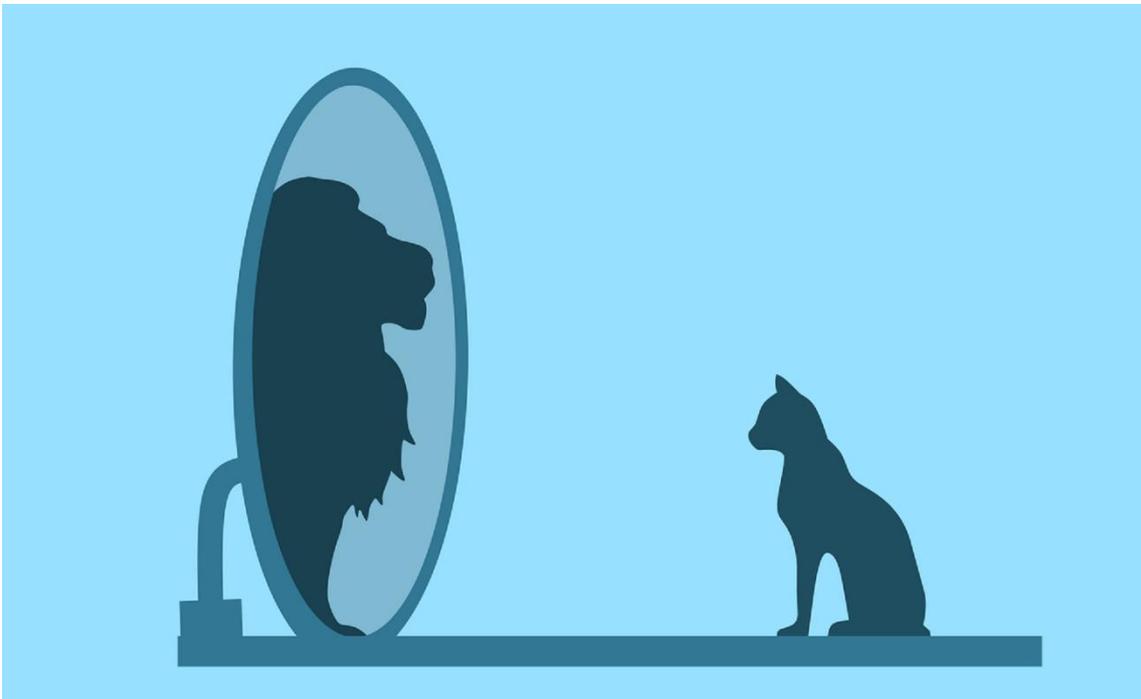


■見下されても、強がっても、
ねこはねこ、あなたはあなた

修正： 2025.01.01

投稿： 2025.01.01



●見下されても、強がっても、ねこはねこ、あなたはあなた①

「みにくいアヒルの子」というアンデルセン童話があります。

一匹だけ見た目の違うアヒルの子がいて、それが原因で幼少期からイジメられて育ちましたが、成長して大人になると美しい白鳥になった、というお話です。

アヒルの価値基準からすると醜くとも、白鳥としては美しいという話でもあります。つまり、**価値基準によって美しくも醜くもなる**ということです。

そして世の中には、無数の価値基準があります。しかし価値基準が何であっても、「わたしはわたし」で「あなたはあなた」です。

泣こうが、わめこうが、「わたしはわたし」であり、見下されても、強がっても、「あなたはあなた」です。もちろん「ねこはねこ」です。

「ハトにビビるなんて、お前、本当は弱いんだろ！ (*´з`)」
とさんざん見下されても「**ライオンはライオン**」です。

「俺には漆黒の羽がある。どうだ、カッコいいだろ！（`ー´）」
と強がったところでしょせん「**ゴキブリはゴキブリ**」です。

いくら褒められても、ゴキブリはライオンにはなりませんし、逆に、どんなに見下されても、ライオンがゴキブリになることはありません。

他人を批判していれば、自分が強くなったように思えるかもしれませんが、「ゴキブリはゴキブリ」であり、ライオンになることはありません。逆に、誰からどれだけ過小評価されようが「ライオンはライオン」です。

誰にどう評価され、何を言われようとも、**「わたしはわたし」**であり、そして**「あなたはあなた」**です。もちろん「ねこはねこ」です。

(続)

//=====//

●見下されても、強がっても、ねこはねこ、あなたはあなた②

「仕事ができる人の特徴」とか、
「モテる人の特徴」とか、
「ポジティブな人の特徴」とか、

何かと「○○な人の特徴」という類の記事が
身受けられますが、「だから何だ！」という話で、
それを真似したところで、そうなれるわけではありません。
「ねこはねこ」であり「あなたはあなた」なのです。

「やればできる」というのも実に無責任な発言で、
同じ人間であっても、中身には雲泥の差があり、
どんなにどう頑張っても、なれないものにはなれません。

と言うと、**子供の夢を壊さないでください！**
と言う人もおり、それもそれで正しいことかもしれませんが、
まあ、**人生を壊さない程度に夢を追えばいい**と思います。

ただし、無理なものは無理で、無理な人には無理です。
ゆえに、仮に夢が叶わなかったとしても、努力不足と思わず、
そもそも人生も世の中もそんなものなのだ、
程度に**軽く**受け止めておけばいいと思います。

モテない人はなぜかモテませんし、
東大に合格できない人はやはり東大に合格できません。
はたまた、仕事ができる CEO を真似しても、

あなたはスティーブ・ジョブズでも何でもありません。

そうして 50 才を過ぎ、努力を重ね出世し、役職を上げて、いきなり役職定年をくらってやる気をなくす、そんな、何者にもなれなかった 60 才のオッサン元部長もいます。

しかし、だから何だという話で、
「夢を叶えることができなかつた奴！」と誰かに見下されても、それでも「わたしはわたし」であり「あなたはあなた」であり、**自分らしく生きていけばいい**ことに変わりありません。

(続)

//=====//

●見下されても、強がっても、ねこはねこ、あなたはあなた③

「誰もあなたの代わりになんてなれないのよ！ (`ー´)ノ」
と、**生命の尊厳**が説かれています。その一方で職場では、
「お前の代わりなんていくらでもおるんやぞ！ (*'ω' *)」
と、上司からプレッシャーをかけられていたりします。

どちらが正しいのでしょうか？

では、その上司である部長に対して、
「部長！誰も私の代わりなんてできません！ (° o°)」
と、生命の尊厳を説けば、どう反応されるのでしょうか？
…。

確かに会社であれば、組織ですから、誰が欠けても大丈夫なように、職務は設計されています。

したがって、本当に優秀な会社であれば、
「お前の代わりなんていくらでもおるんやぞ！」
と言っている人の代わりもいくらでもいます。
代表取締役ですら交換可能です。

ただし、これは組織の場合の話であって、
自分という視点で**人生**を眺めると、
誰かを誰かの代わりには**不可能**です。
これがある意味、私たちの生きる意味
に繋がってくるのではないかと考えております。

背伸びをしても背まで高くはならないことと同様に、
出世して役職が高くなっても、知能まで高くなったりはしません。
誰にどう評価されても、実は自分は何も変わりません。

社長と呼ばれても「わたしはわたし」で「あなたはあなた」、
刑務所に入っても「わたしはわたし」で「あなたはあなた」、

リストラされようが、会社が倒産しようが、
ひとりぼっちのクリスマスを過ごしていようが、
「わたしはわたし」で「あなたはあなた」です。

強がらず、卑屈にならず、ありのままの姿で、
誰かから必要とされるよう、努力し続けければいいと思います。

(完)

//=====//

Web サイト :

心を力学する ー原理・原則に基づく生き方を考えるー

著者：

時無 和考(Tokinashi Kazutaka)